

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- 第1回理事会
開催年月日 令和3年5月21日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名（うち表決委任者1名）／理事人数9名
議決事項の概要
 - 令和2年度事業報告及び決算について
 - 令和3年度事業計画及び予算（案）について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 給与規定の一部改正について

- 通常総会
開催年月日 令和3年5月29日（土）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席会員 56名（うち表決委任者39名）／会員総数56名
議決事項の概要
 - 令和2年度事業報告及び決算について
 - 令和3年度事業計画及び予算（案）について

- 第2回理事会
開催年月日 令和3年10月29日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名／理事人数9名
議決事項の概要
 - 令和3年度積立金の積み立てについて
 - 工賃変動積立金の取崩しについて
 - 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 指定特定・指定障がい児相談支援事業者運営規程の一部改正について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 ハラスメント規程の策定について
 - 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船 運営委員会設置要綱の一部改正について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 臨時職員就業規則の一部改正について
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

- 第3回理事会
開催年月日 令和4年3月25日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 9名／理事人数9名
議決事項の概要
 - 特定非営利活動法人ぽんぽん船 就業規則の一部改正について
 - 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金に係る給与改定について
 - 令和4年度事業計画及び活動予算（案）について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】 就労継続支援B型

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部と

の関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。イベントが中止になる等、新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、新規の取引も増え、例年並みの作業量・作業収益を確保することができた。

また、事業所内や施設外就労での訓練を重ね、一般就職した利用者1名も、安定した勤務状況で、就労定着することができている。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新規の注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで客層がさらに拡がり、市外・県外からの注文も増えている。

個別注文の他、10店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のないよう計画的に製造・納品することで売上アップにつながっている。また、クッキーの飾りつけや生地づくり等、利用者一人ひとりが新たな作業に挑戦してレベルアップしたり、クッキーの飾りつけが簡単にできる治工具等を工夫する等、作業環境を改善することでスピードアップにもつながっている。できる作業が増えて自信につながると同時に時給もアップし、利用者の励みとなっている。

イベントが中止になる等、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、口コミで広がったプリントクッキーの注文の増加や、観光センターいずもへの納品等の新規取引があり、例年並みの収益を得ることができ、工賃向上につなげることができた。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、丁寧で正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、平成29年度は6軒、平成30年度は7軒、令和元年度は7軒、令和2年度は8軒、令和3年度は、新規契約の農家を含め7軒のぶどう農家での作業に取り組んだ。

地域の農福連携事業推進のため、島根県障がい者就労事業振興センターの農福連携担当者や島根県農業技術センター、農福連携事業に取り組んでいる他の就労継続支援B型事業所等、地域の関係機関と連携・情報交換しながら、作業を進めてきた。継続して支援に入っている農家が、品評会で2年連続受賞する等、農福連携事業の効果がみられ、農家からの信頼や期待が高まることが、利用者の自信や励みにつながっている。

また、令和2年度に引き続き、菓子製造担当の利用者もぶどう作業に取り組み、力をつけてきている。技術が向上した作業については、単価交渉をして時給を上げる等、工賃アップにもつなげていくことができた。

[清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。また、社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホーム はなんばの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となっている。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、健康チェックをして施設の清掃に参加する等、安全・健康に気をつけて作業に取り組んだ。

施設外就労を通して地域の方と関わり、交流をするとともに、適度な緊張感を持ちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

[請負作業]

(株)ナカバヤシ、(株)かみありづき、(株)河内の内職作業の他、地域のいちじく農家の箱折り作業等、複数の作業に取り組んだ。治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連の作業として、出雲市より選挙用鉛筆削りの作業を請け負い、実施した。

確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保することができている。

[アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、継続してアルミ缶をリサイクルすることができた。アルミ缶の回収量は減少傾向にあるが、缶の引取り価格が急増し、安定した作業収益の確保につながっている。

②【相談支援事業】 指定特定・指定障がい児相談支援事業

障害福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズをもとに関係機関と連携し、社会資源等の調整を行う等、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町の障がい児5名の相談支援を担当してきた。

③【地域生活支援事業】 日中一時支援事業

日中一時支援事業を実施。地理的な条件等により、令和3年度の利用希望はなかったが、長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、今後も地域のニーズに応えることができるよう事業を継続していく方向である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位(千円)
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぼんぼん船	5名	18名	33,904
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぼんぼん船	1名	5名	853
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぼんぼん船	0名	0名	0